【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成16年9月16日(2004.9.16)

【公開番号】特開2001-125903(P2001-125903A)
【公開日】平成13年5月11日(2001.5.11)
【出願番号】特願平11-301745
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０６Ｆ　17/30
　Ｈ０４Ｎ　 5/76
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　15/401　３１０Ｄ
　Ｈ０４Ｎ　 5/76　　Ｂ
　Ｇ０６Ｆ　15/40　 ３７０Ｄ
　Ｇ０６Ｆ　15/403　３５０Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成15年9月4日(2003.9.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
各データが時系列的に連続しているデータ系列をクエリーとして与え、該データ系列に類似する個所を参照データ系列の中で検索するデータ系列検索装置において、
前記参照データ系列を予め分類し、特徴が類似している参照データ群を１つの集合とする複数の集合および各集合を代表する代表参照データを予め用意し、前記複数の集合の各々と関連付けて、各集合の中に含まれる参照データの時間軸上の位置および代表参照データを予め記憶した記憶手段と，
前記クエリーのデータ系列を入力する入力手段と、
当該入力されたクエリーのデータ系列を構成する複数のデータの各々について、もっとも距離が近い代表参照データを有する集合を検出する第１の情報処理手段と、
当該検出された１以上の集合の中に含まれる参照データの時間軸上の位置に基づいて、前記検出された１以上の集合の中に含まれ、時間軸上で連続する参照データで構成される部分参照データ系列を取得する第２の情報処理手段と
を具え、当該取得された部分参照データ系列を前記クエリーのデータ系列に対する検索結果とすることを特徴とするデータ系列検索装置。
【請求項２】
各データの値が時系列的に連続しているデータ系列をクエリーとして与え、該部分的なデータ系列に類似する個所を参照データ系列の中で検索するためのプログラムを記録した記録媒体において、前記プログラムは、
前記参照データ系列が分類され、特徴が類似している参照データ群を１つの集合とする複数の集合および各集合を代表する代表データが予め用意されており、前記複数の集合の各々と関連付けて、各集合の中に含まれる参照データの時間軸上の位置および代表参照データが予めデータ処理装置に記憶されており，
前記クエリーのデータ系列を構成する複数のデータの各々について、もっとも距離が近い代表参照データを有する集合を検出する第１のステップと、
当該検出された１以上の集合の中に含まれる参照データの時間軸上の位置に基づいて、前

記検出された１以上の集合の中に含まれ、時間軸上で連続する参照データで構成される部分参照データ系列を取得する第２のステップと、
を具え、当該取得された部分参照データ系列を前記クエリーのデータ系列に対する検索結果とすることを特徴とする記録媒体。
【請求項３】
請求項２に記載の記録媒体において、前記第２のステップでは前記時間軸上で連続する部分参照データ系列の中からさらに順次性を有する部分参照データ系列を最終的な検索結果として取得することを特徴とする記録媒体。
【請求項４】
請求項２に記載の記録媒体において、前記第１のステップは、クエリーのデータに距離がもっとも距離が近い代表参照データが検出されるごとに、該代表参照データを有する集合内の参照データに対して得点を与え、前記第２のステップでは各前記参照データの得点を時間軸上に並べたヒストグラム分布を作成し、当該作成されたヒストグラム分布に基づき連続する部分参照データ系列を取得することを特徴とする記録媒体。
【請求項５】
請求項２に記載の記録媒体において、前記プログラムは逐次クエリーとして入力される前記データ系列に対する前記検索された部分参照データ系列のうち、最も時刻の進んだフレームを逐次上書きして表示手段に表示させることを特徴とする記録媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
請求項２の発明は、各データの値が時系列的に連続しているデータ系列をクエリーとして与え、該部分的なデータ系列に類似する個所を参照データ系列の中で検索するためのプログラムを記録した記録媒体において、前記プログラムは、前記参照データ系列が分類され、特徴が類似している参照データ群を１つの集合とする複数の集合および各集合を代表する代表データが予め用意されており、前記複数の集合の各々と関連付けて、各集合の中に含まれる参照データの時間軸上の位置および代表参照データが予めデータ処理装置に記憶されており，前記クエリーのデータ系列を構成する複数のデータの各々について、もっとも距離が近い代表参照データを有する集合を検出する第１のステップと、当該検出された１以上の集合の中に含まれる参照データの時間軸上の位置に基づいて、前記検出された１以上の集合の中に含まれ、時間軸上で連続する参照データで構成される部分参照データ系列を取得する第２のステップと、を具え、当該取得された部分参照データ系列を前記クエリーのデータ系列に対する検索結果とすることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
請求項３の発明は、請求項２に記載の記録媒体において、前記第２のステップでは前記時間軸上で連続する部分参照データ系列の中からさらに順次性を有する部分参照データ系列を最終的な検索結果として取得することを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００１５】
請求項４の発明は、請求項２に記載の記録媒体において、前記第１のステップは、クエリーのデータに距離がもっとも距離が近い代表参照データが検出されるごとに、該代表参照データを有する集合内の参照データに対して得点を与え、前記第２のステップでは各前記参照データの得点を時間軸上に並べたヒストグラム分布を作成し、当該作成されたヒストグラム分布に基づき連続する部分参照データ系列を取得することを特徴とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
請求項５の発明は、請求項２に記載の記録媒体において、前記プログラムは逐次クエリーとして入力される前記データ系列に対する前記検索された部分参照データ系列のうち、最も時刻の進んだフレームを逐次上書きして表示手段に表示させることを特徴とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】削除
【補正の内容】